

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19047-1	婦人団体育成費	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	財	会計 一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働と交流の場の創造	務	款 教育費
	施策の方向	03:市民交流の促進	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 社会教育総務費	

② 目的・概要	対象	亀山市婦人会連絡協議会
	目的	地域に根ざし、安心安全、福祉のまちの達成に向け、少子高齢化社会への対応、青少年育成、環境整備、省エネ対策、災害時における助け合いの精神を持ち、目標に向かって他団体と交流を持ちながら活動を進める、亀山市婦人会連絡協議会を支援する。亀山市内の地区婦人会(亀山・白川・野登・川崎)で、亀山市の亀山市婦人会連絡協議会を形成している。

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称 婦人学級数	計画値			
		補足 亀山、野登、白川、川崎の4地区で開催している婦人学級の数	実績値	15	15	14
			単位	学級	学級	学級
	成果	① 名称 自主事業の開催回数	計画値			
		補足 婦人会員だけでなく、広く亀山市民を対象とした行事の開催回数。(女性向けの講演会、三世代交流など)	実績値	2	3	3
			単位	回	回	回

年度計画				年度実績				
				亀山市婦人会連絡協議会は、女性の教養と地位の向上を図るとともに、地域社会の発展を目的に活動しており、環境美化活動や三世代交流事業に独自で取り組んでいるほか、市の多くの行事にボランティアとして参加した。 平成26年度には、2月に生涯学習室主催のパパママフェスタに参加し、婦人会によるふるまいやげんこつあめの体験コーナーを行った。また、3月には亀山エコーを会場に、婦人学級の作品発表会を初めて開催し、市民に対し地域婦人団体の活動PRを行った。				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	364	平均給与額×③
		事業費		890	890	一般職員人件費 ②	74	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.01	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	290	
		地方債				受益者負担額 ⑤		受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥
		その他						
		一般財源		890	890			
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	364		
	総コスト		⑥	1,254				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	婦人会事業に対する補助金交付基準の見直し作業を行い、婦人会事業の実施意義について再共有した。特に、講座は本来の女性の地位向上にとどまらず、生きがいづくりにまで展開したものとなっている。また、パパママフェスタにおける子どもと一緒に作れるお菓子(げんこつあめ)教室など婦人会ならではの取組みもあり、これまでの活動成果を踏まえた地域貢献へと発展している。	総合判定	A
			順調に進んだ	
	【反省点・課題】	地域におけるボランティア活動の担い手として存在意義は年々増しており、支部によっては地域まちづくり協議会の主要構成団体となっている。一方で、会員の世代交代が進まず、会員数は減少の歯止めがかからない。持続可能な会運営のあり方について意識を共有する必要がある。	【改善の方向性】	平成26年度に引続き、さまざまなイベントにおいて婦人会ならではの特色を出したPRを行い、婦人会の社会的役割を周知するとともに、地域課題解決の担い手として婦人会への参加意識を共有する。
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆	